

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	おおよそ5日分の水や乾パンなどを備蓄しているが、賞味期限を記録・把握していない。災害時の保存食の一覧表を作成していない。	災害時の保存食の一覧表を作成する。賞味期限等を常に把握しておく。	一覧表は管理者が作成し、グループホーム全職員に周知徹底する。そして、グループホーム全職員が保存食の場所を把握し保存食の一覧表を月に一度は確認する。	3ヶ月
2	2	コロナ禍であった為、外出及び来所されての交流を控えており、近隣との積極的な交流が減っていた。そのため、事業所と地域との付き合い、関係性を築けていなかった。	事業所と地域との付き合い、関係性の構築をしていく。	外出の機会や、イベントや行事、ボランティアの方を招く。また、運営推進会議では参加者を増やし、民生委員などの意見を取り入れる。	6ヶ月
3	4	運営推進会議を家族代表、民生委員、地域包括支援センター担当者で、対面で開催しているが、参加者を増やすことで、より幅広くアドバイスや意見の取り入れ、サービスの向上に活かすことができる。	運営推進会議での参加者を増やし、幅広いアドバイスや意見を取り入れ、サービスの向上に活かす。	広く近隣住民代表などの参加者を増やす。また、議事録は参加者全員に送付し、職員には回覧するなど、ホームの活動を関係者に周知していただく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月